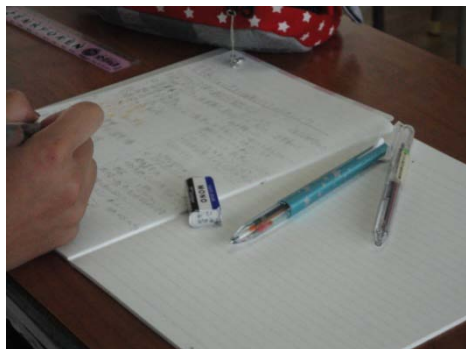


校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 27 年 7 月 3 日 No18

素晴らしい集中力! さすが 3 年生!



校長だより No10 (5 月 26 日) で教科書にびっしりとメモを取りながら授業を受けている 2 年生の姿を紹介しましたが、左の写真は先生の説明を一言も聞きもらすまいと一生懸命にまとめている 3 年生のノートです。大学ノート片面の左半分には黑板の内容を、右半分には黑板には書かれないけれども先生が説明する重要事項がびっしりとまとめられています。見る見るうちにノートが埋まっていきます。集中して授業に臨んでいる

様子うかがえます。頑張っているなあと感心していると、一人だけではありません。教室のあらゆるところでノートの右側のメモ欄が埋まっていきます。黑板の前では先生がいろいろな資料を準備して考える材料を提示していきます。そして、いよいよ授業のクライマックス「なぜ、～政策を行ったのでしょうか?」という先生の声に、今まですらすら動いていた手がピタッと止まりました。これからが大事な「考える」時間です。考える材料はそろいました。先生が示された材料をどう関連させていくか。これが「活用する力」です。シーンと緊張した時間が流れます。今、頭をフル回転させているな。ということが伝わってきます。この時に力を発揮するのがノートの右側の「メモ」です。先生と生徒の真剣勝負の 50 分があつという間に過ぎて行きました。この 50 分の積み重ねが自分の進路を切り開く大切な力となっていきます。3 年生の合言葉は「受験は団体戦だ!」ですね。この緊張感が確実に集団の力を高めています。



一瞬一秒を大切にしていますか?

7 月 1 日は 1 日が 1 秒長い「うるう秒」が実施されました。そのことについて書かれた新聞コラムの一部を紹介します。

7 月 2 日付 日本経済新聞「春秋」より

『きのうは 1 秒長い 1 日だった。全世界で「うるう秒」を挟んだからだ。地球の自転速度と標準時のズレを調整するためで、日本では 18 年ぶりの平日実施。偏りが積み重なると、白夜や暗い朝が起こる可能性もあるらしい。一瞬の違いが後世に響く。企業が電算機のトラブル対策に追われるなど、1 秒の重さがよく分かった。』

ふだん、1 秒を意識することはあまりない。だが、**注意深くみれば、感動の場面や笑顔の一瞬に気がつく。永遠に価値のある瞬間、不滅の輝きが見えることもある。すると、世界も風景もいきいきと迫ってくる。**歌人の岡井隆さんにそんな心がけを詠んだ歌がある。「瞬間を永遠とするころぞし無月(むげつ)の夜も月明(あ)かき夜も」

1 秒の大切さをあらためて考えていきたいですね。一瞬一秒のプレーが勝負を分ける、中体連夏季大会。明日も各地で実施されます。